

# ジャパンマイコンカーラリー 2007 全国大会

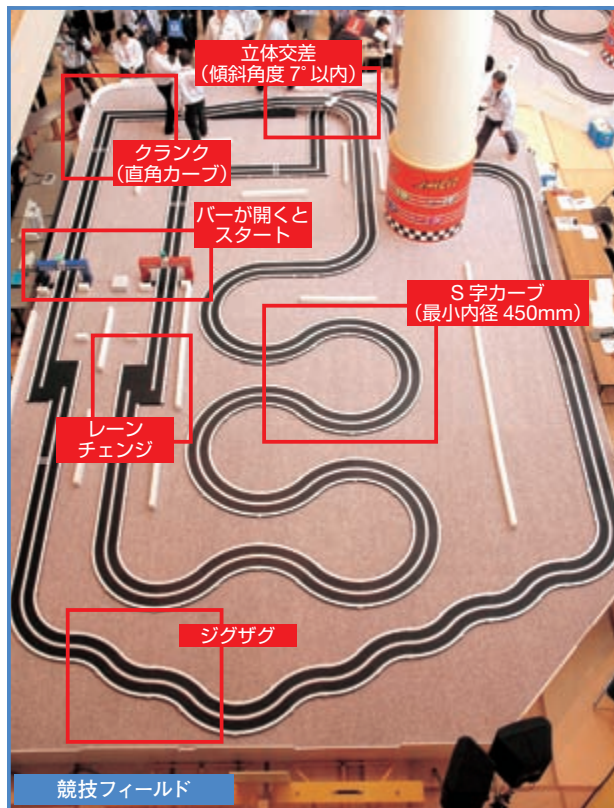
「ロボマガ」記者・城井田 勝利

## 競技内容

2007年1月8日、北海道札幌国際情報高校で「ジャパンマイコンカーラリー 2007」の全国大会が開催された。地区大会を経て集まった計243機(高校生の部120機、一般の部123機)のライントレースカーによる競技会で、予選では周回タイムが競われ、決勝トーナメントでは速いほうが勝ち上がる。優勝するまでには、少なくとも6回は走らなければならない。コースアウトは基本的に許されない。耐久力と確実性が要求される、きわめて厳しいライントレースカーレースである。

競技コースの難易度も高い。クランク(直角カーブ)やS字カーブ(最小内径450mm)、立体交差(傾斜角度7°以内)が含まれ、さらに、今大会からは、2005年の第10回記念大会でテスト的に導入されていたレーンチェンジも追加された。トレースするラインが途切れるこのレーンチェンジは、地区大会での完走率を大幅に下げることになった。

この競技コースのレイアウトは毎年変わり、直前まで非公開である。マイコンカーは、60mにも及ぶ難コースに予備知識なしで臨むのである。



## 大会結果

今大会から正式に追加されたレーンチェンジは、地区大会で出場者を大いに悩ませた。それは完走率に反映され、どの地区大会でも前大会を大きく下回る結果となった。

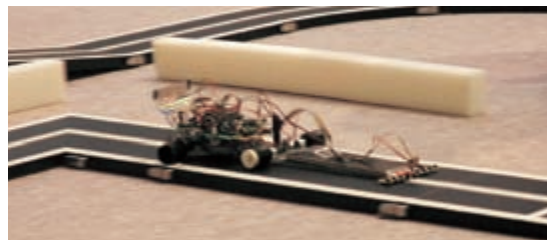
この状況は全国大会でも続き、出場者の半数以上は予選でのコースアウトに涙をのんだ。常連も例外ではなく、ジャパンマイコンカーラリーならではの再挑戦の許されない厳しさから、予選で消え去った者も多く出た。この結果、新たな顔ぶれが多数上位へと進出することになった。

### 高校生の部 優勝



布村真佐喜(富山県立大沢野工業高等学校)  
「麒麟児」

### 一般の部 優勝



中村彰男(熊本県立球磨工業高等学校)  
「ランサー6号」

高校生の部		
順位	ロボット名	選手名
優勝	麒麟児	布村真佐喜(富山県立大沢野工業高等学校)
準優勝	九産2号	香月洋輔(九州産業大学付属九州産業高等学校)
第3位	オジー	河上哲也(熊本県立御船高等学校)

一般の部		
順位	ロボット名	選手名
優勝	ランサー6号	中村彰男(熊本県立球磨工業高等学校)
準優勝	SAMES 太郎2号	藤坂浩史(株式会社三洋メディコムソフトウェア)
第3位	FRAGILE006	河野純也(日産自動車株式会社)